

ふくえしま
福江島
(長崎県五島市)

AI・水中ドローンを活用した磯焼け対策・
カーボンニュートラル促進に向けた実証

《概要》

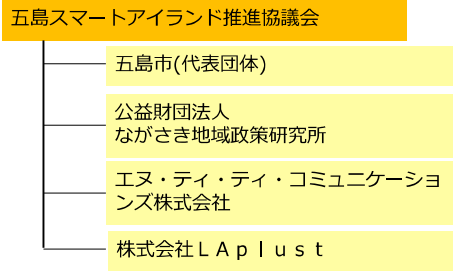
島内人口(R2):31,945人

島の問題

- 水産業は五島市の基幹産業であるが、ガンガゼ(ウニ)や植食性魚類による藻場の食害が原因で磯焼けが発生し、漁獲量が減少している。
- ガンガゼ駆除の担い手が不足しており、省力・省人化が必要となっている。
- 植食性魚類の生息場所が把握できておらず、駆除対策ができていない。



調査体制

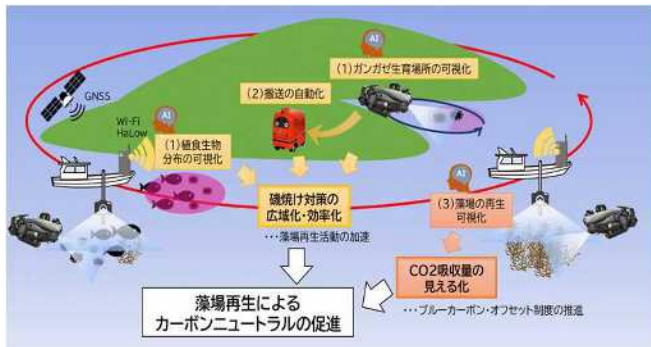


主な取組概要

- 植食動物の分布把握の有用性
⇒AI等で判別し、磯焼け対策の広域化や効率化が可能か検証。
- 藻場の繁茂状況把握の有用性
⇒GNSS(高度の位置情報取得システム)等によりCO2吸収量の算出根拠への活用可能性を検証。
- 自動搬送の有用性
⇒センサーとカメラで障害物を認識し、自らの判断で回避して走行する自動搬送ロボットによるガンガゼ自動搬送の可能性を検証。

目指す姿・期待する効果

- 【豊かな資源を活用してゼロカーボンに取り組むサステナブルな島の実現】
- 植食動物の生息分布を把握することにより、磯焼け対策の推進に寄与する。
 - ガンガゼの捕獲から運搬までの一連の作業の自動化が図られ、作業の省力化に寄与する。
 - 藻場の繁茂状況を把握し、CO2吸収量の見える化を行うことで、ブルーカーボン・クレジット制度の推進につなげ、持続可能な藻場再生モデルの構築とカーボンニュートラルの促進に寄与する。



本実証の実施内容・イメージ



カメラ搭載水中ドローン
自動搬送ロボット

ひめしま
姫島
(大分県姫島村)

島民による持続可能なライブ配信を通じた島の魅力発信&特産品コマースを活用した地域活性化に向けた体制構築

《概要》

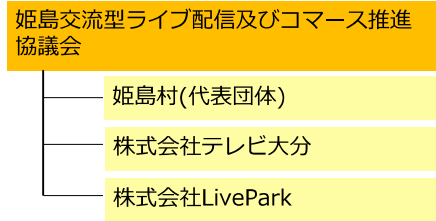
島内人口(R2):1,725人

島の問題

- 漁業就業者の高齢化や後継者不足の中、漁家所得の向上と雇用の拡大を行う必要がある。また姫島の魅力や特産品を効果的に島外へ伝えたい。
- ⇒ICTの活用が有効であるが、島民のICTリテラシーが不十分であり、課題解決のための効果的な対策に課題。



調査体制



取組概要

- 島内から、日本全国に向けてインタラクティブ型ライブ配信を実施する。
- 映像だけの配信ではなく、全国のユーザーと島民のオンラインでリアルタイムな交流を図りながら、EC連携し島内の特産品の販売を行う。
- 移住相談等に関する情報発信とコミュニケーションを図りながら、島民が自ら発信できる環境をつくる。

目指す姿・期待する効果

- 新しいICTや全国の人々にリーチできるサービスを活用することで、島の主力産業である、車エビ等の海産物の販路拡大により漁家所得の向上と雇用の拡大を目指す。
- また、今回の施策を通じた、島民のICTリテラシーの向上や、島内観光の魅力発信の新PR手法や島の特産品の新たな販路拡大方法への理解と活性化を狙うとともに「ITアイランド」としてのブランディング化につながるデジタル施策によるPRにより、更なるICT関連企業の進出、雇用の場の確保による人口流入促進・流出抑制を狙う。



全国へのリーチ 認知拡大	島民の ICTリテラシー 向上
特産品販路拡大 観光客増 所得の向上	ITアイランド ブランディング 移住/企業誘致

デジタルを活用した新しい島内外コミュニケーション実現を目指す